

令和 7 年 8 月 29 日

「guntû (ガンツウ)」大阪特別航路、歴史と文化を紡ぐ船旅が盛況のうちに終了

公益財団法人大阪観光局（理事長：溝畑 宏）は、株式会社せとうちクルーズ（社長：梅田幸治）による客船「guntû (ガンツウ)」の 2025 年 8 月大阪特別航路が無事終了したことをご報告いたします。

瀬戸内海の魅力を深く掘り下げるガンツウが、初めて明石海峡を越え、大阪港を発着港とする特別航路を実現。大阪と瀬戸内の歴史的・文化的なつながりをテーマに 2 本の航路が運航されました。

本企画に際し、大阪観光局では、大阪の食材や観光資源に関する情報提供などを通じて協力させていただきました。船内では大阪産の食材を活かした特別メニューが提供されるなど、地域の特色に触れながら大阪の新たな魅力に出会える内容となっております。



guntû (ガンツウ)

【8 月 22 日発】

華やかな大大阪時代の足跡を辿る 3 日間

1920 年代、大阪は工業化の波に乗り、世界第 6 位の国際都市として躍進しました。本航路では、その活気あふれる時代を支えた堺の鉄産業と、大阪南部の紡績業に焦点を当てました。

2 日目堺では、まず水野鍛錬所を訪問。五代目刀匠・水野様より堺の打ち刃物についてご紹介いただきました。続いて鉄炮鍛冶屋敷では、古墳時代から続く堺の鉄の歴史を、鉄炮伝来、包丁、自転車産業へと辿りながら、関西大学・藪田名誉教授と鉄炮鍛冶屋敷 井上関右衛門家第十五代当主・井上様による座談会で深く学びました。産業の変遷を通じて、堺が果たしてきた役割を実感する濃密な時間となりました。

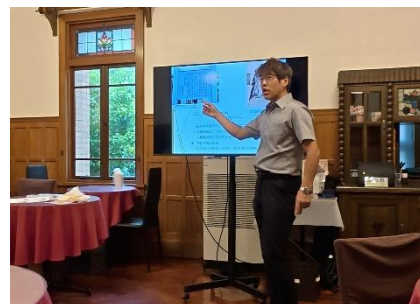
さらに、3 日目早朝には田尻町にて「朝さんぽ」が行われ、紡績業で財を成した谷口房蔵の足跡を辿る散策へ。田尻歴史館では、慶應義塾大学・橋口教授が大阪の紡績業の発展と房蔵の功績について解説。歴史館に残る建築や資料を前に、産業と人物の物語が立体的に浮かび上がる、航路のハイライトともいえる体験となりました。



水野鍛錬所



鉄炮鍛冶屋敷



田尻歴史館

【8月26日発】

海運を支えた北前船の栄華を訪ねる3日間

陸路が発展する以前、瀬戸内海をはじめとした「海の道」は、物流と人の往来を支える重要な交通ルートでした。本航路では、古代から近世にかけて海運の要衝として栄えた大阪南部の歴史を、3つの船外体験を通じて辿りました。

2日目まず訪れたのは、古くから大阪湾の守り神として船乗りたちの信仰を集めてきた住吉大社。

特別参拝では静謐な空気の中、航海の無事と旅の充実を祈るひとときとなりました。

続いて、廻船が運んだ荷物にまつわる地を訪ねる和歌山周辺の散策では、港町の風情と共に、物流の拠点としての歴史を体感。

3日目、北前船交易で富を築いた船主ゆかりの地・泉佐野では、豪華な船主屋敷や町並みを巡り、海運がもたらした繁栄の記憶を辿りました。

今後の展望

今回の成功を受け、大阪観光局は来年度以降も株式会社せとうちクルーズと共に「guntû 大阪特別航路」の継続実施を目指します。大阪港を発着港とし、大阪府域の歴史文化や瀬戸内とのつながりを感じられるコースを企画・定着できるよう、大阪観光局としても引き続き協力していく方針です。

大阪ベイエリアの活性化と瀬戸内海との文化交流の架け橋として、ガンツウの航路をハイエンド層に向けた新たな観光資源として確立させるとともに、さらなる発展を図ってまいります。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ】 公益財団法人 大阪観光局 観光事業部 山崎・塩見

Tel: 06-6282-5910 Mail: tourism@octb.jp